

今冬の電力需給対策について

2012年11月2日
北海道電力株式会社

本日、国の電力需給に関する検討会合、エネルギー・環境会議合同会合において、当社管内における今冬の需給対策が以下のとおり示されました。

1. 数値目標付の節電要請

次の期間の平日において2010年度比7%以上の節電を要請する。

節電要請期間	節電要請時間帯
12月10日から12月28日	16時から21時
1月7日から3月1日	8時から21時
3月4日から3月8日	16時から21時

※冬季の北海道は、夜間も電力需要が高い水準であるため、上記時間帯以外も可能な範囲での節電を要請する。

※上記節電要請期間以外の12月3日から12月7日、3月9日から3月29日の平日においても8時から21時まで「数値目標を伴わない節電」を要請する。(定着節電で見込んでいる2010年比3.3%減が一つの目安となる)

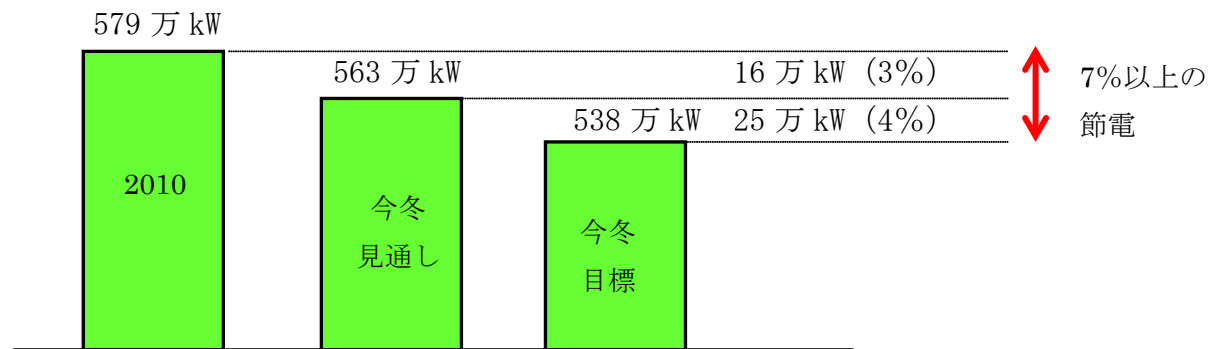
※病院や鉄道などのライフライン機能の維持に支障が出る場合については、機能維持への支障が生じない範囲で自主的な目標を設定し、節電を行うよう要請する。

※電源脱落がない平時においては、生産活動等について、実質的な影響が生じない範囲で自主的な目標を設定し、節電を行う。

※高齢者等の弱者に対して、無理な節電を要請することのないよう配慮を行う。

※管内における複数の事業所が共同して節電目標を設定し、取組むことも可能とする。

<イメージ>



2. 計画停電回避緊急調整プログラム

概要：計画停電を含む非常事態に至るリスクを最大限回避するため、「数値目標付の節電要請」に加え、北海道電力は「計画停電回避緊急調整プログラム」を準備、大規模な電源脱落等による需給逼迫時にこれを発動し、生産・経済活動の一時停止や臨時休業等による需要の大幅抑制を図るもの。

期間：平成24年12月10日から平成25年3月22日

対象：大口需要家（産業・業務用で契約電力500kW以上）

目標値：33万kW以上

3. さらなる需給ひっ迫時に備えた対策（緊急時ネガワット入札等）

過去最大級を上回る電源脱落の発生に備え、上記1および2に加え、北海道電力は2では対応できない大規模な電源脱落時の電力需要の削減のため、緊急時ネガワット入札等の仕組みを整備する。

4. 今冬の需給対策の基本的な考え方

過去最大級（過去15年間で最大の電源脱落は137万kW）またはそれを上回る電源脱落が発生する場合にも、計画停電を含む停電に至るリスクを回避するため多重的な対策を施し、需給対策に万全を尽くす。

<多重的な対策>

平常時	ひっ迫時
④数値目標付節電要請 25万kW (7%) 以上	④数値目標付節電要請 25万kW (7%) 以上
②北本からの受電 56万kW	②北本からの受電 56万kW
①供給予備力確保 33万kW	①供給予備力確保 33万kW
	③随時調整契約 5万kW
	⑤計画停電回避緊急調整プログラム 33万kW以上
	⑥さらなる対策

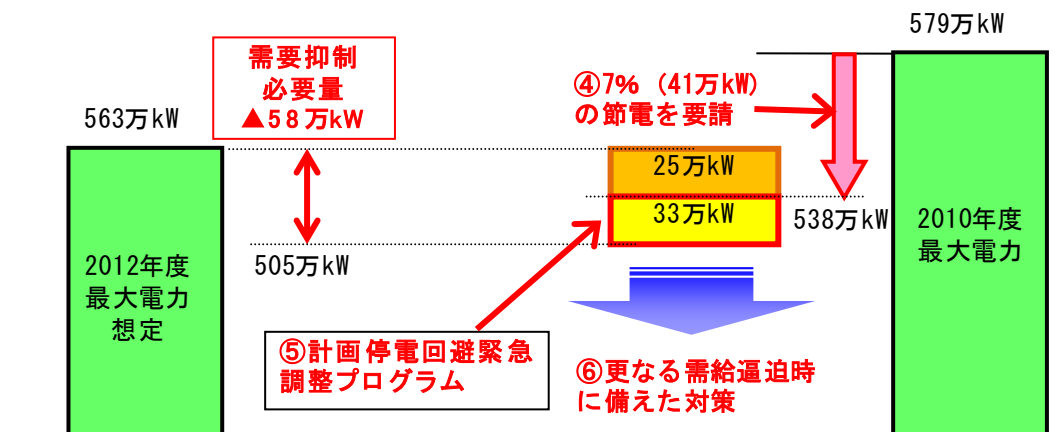
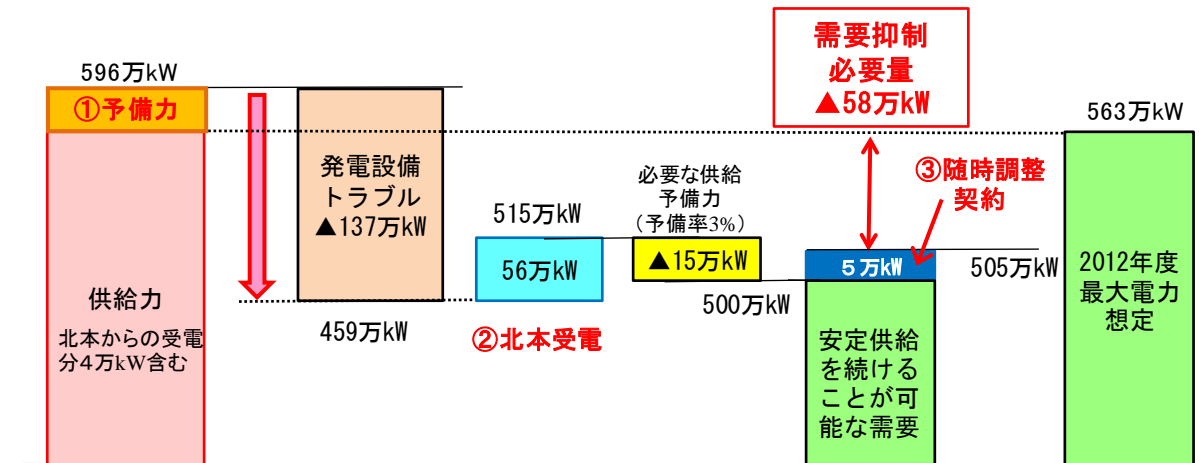


図 電源脱落時の多重的対策のイメージ
(137万kWの電源が計画外停止した場合)